



中之町幼稚園だより

令和 7 年 5 月 号

港区立中之町幼稚園

園 長 酒井 正美

園庭には、こいのぼりが気持ちよさそうに泳いでいます。園庭や周辺の木々には若葉が萌える季節となりました。

入園、進級から1ヶ月が経とうとしています。どの学級も、教師との信頼関係を基盤に新しい環境に慣れ、遊びや生活にリズムが感じられるようになってきました。

毎朝、登園してくる子どもたちや保護者の皆様と挨拶できることをうれしく思っています。立ち止まり、目を見て挨拶してくれる子が多く、とても素敵だなと思います。



年少太陽組の子どもたちは、挨拶の代わりにニコニコ笑顔を見せてくれたり、チラリと顔を見たりと、その子なりの挨拶をしてくれる姿が見られます。「おはようございます」と、しっかりと挨拶ができるようになってほしいという願いはあっても、無理に言わせようと急がなくて大丈夫です。挨拶の仕方を伝えることは大事なことでありますが、まずは、大人同士が気持ちよく挨拶を交わす姿に触れることが大切です。そのような環境があることで、子供たちは徐々に自分から挨拶をしようという思いをもったり、挨拶をする心地よさを味わったりしていきます。そして、相手に思いをもち、思いが伝わる挨拶を身に付けていけるとよいと思います。形とともに心が通う素敵な挨拶ができるようになることは、子どもたちの一生の宝物だと思います。

親子で手をつないで通えるのは、幼稚園の間のほんのわずかな期間です。忙しい朝かと思いますが、ぜひ、お子さんと手をつなぎ通うこと、一緒に挨拶をすることを楽しめるといいですね。

幼稚園のビオトープ『にこにこ池』では、メダカが元気に泳ぎ回っています。『自然と触れ合って遊ぼう』では、プロ・ナチュラリスト、佐々木 洋先生が子どもたちに自然の楽しさを伝えてくださいました。園庭や園の周辺には、小さな自然がいっぱい。散策をしながら見付けた、虫や草、木のことを教えてもらう度、子どもたちは目を輝かせていました。

年長宇宙組は、『にこにこ池』に興味をもち、よく見ています。先日は、アメンボが来ているのを発見！そして、今日は『ヤゴ』がいるのを見付けました。幼稚園の園庭と共に完成したビオトープには、まだ何もいない「池」でしたが、保護者の方のお力も借りながら、みんなの大好きな『にこにこ池』になりました。様々な生き物が来てくれるようになってきた『にこにこ池』です。これからも、子どもたちと共に大切に育てていきたいと思っています。